

第72回「ハートミーティング」意見交換の内容について 上下水道局「水道・下水道未来研究会」

★市長からのコメント

- これまでから、厳しい環境の中「オール上下水」で改革を進めていただき、本市の様々な事業に貢献してくれている。そして今回新たな挑戦として、他都市の良いところを学び、議論や研究を重ねた成果を本日は聞かせていただいた。
- 上下水においても、安心安全の京都を世界にアピールするため、震災対策やインフラの老朽化、将来の人口減少といった課題を、京都の歴史を大切にしながら、国際水準の視野で検討していく必要がある。
- 新たな技術の活用や事業手法について発表していただいたが、サービス業の担い手が減っていく中、コンピュータの更なる活用や、様々な業務の共同化、自動化が重要になってくる。
- 改革にはもちろんトップダウンも必要だが、現場には神が宿ると考えている。全員で改革する機運を醸成し、ボトムアップで改革のアイデアを発信し、よいものはトップダウンで実行する。ボトムアップとトップダウンの融合が大事である。
- 地域活動に参加すると、様々な人と関わり、意見を聞いてまとめていく過程で、「人間力」が養われる。職場でもコミュニケーションを大切にし、風通しのよい職場にすることで、モチベーションが向上したり、効率的な仕事ができ、市民サービスが向上する。

★参加メンバーからの主な声

- 市長のお言葉はどれも、気持ちが込められており印象に残っています。どの質問にも真剣な眼差しで意見を述べてくださり、様々な面で勉強になりました。
- 市長から「上下水と言うのは、水を提供する、下水を処理するだけではなく、きちっとしたポリシーの下に進めていかないといけない」というお話があり、これから私たち上下水道局職員は、お客様や市民の皆様へ、自分たちの意思で未来のビジョンをしっかり示し、理解を求めていかなければいけない時代にあると思いました。
- 市政を効率的に改革していくためには、職員のボトムアップが前提であるという話があったので、今後もより良い未来のため、多種多様な分野において、斬新な切り口で考え続けたいです。
- 市長のお話に共通していたのは「人間力」だったように思います。市民の皆様や業者、同僚等「人と人との関係」を大切にして、今後の仕事に取り組んでいきたいと改めて思いました。
- 終始和やかな雰囲気、市長との距離がすごく近づいたように感じました。組織のトップである市長の考えを直接聞いたり、自分たちの考えを聞いていただけるととても貴重な場であり、市長から激励の言葉をいただき、今後の自分の仕事におけるモチベーションアップにもつながりました。